

議長立候補所信表明

皆様こんにちは。会派みどり21の赤堀博でございます。

議長立候補にあたり、所信を述べさせていただきます。

私は、平成29年1月より議員となり9年目に入りました。この間、総務建設委員長、一般会計予算決算特別委員長、そして2期目の後半2年間は副議長を務めさせていただきました。この間、議員の皆様には議会活動にご協力いただきましたことを感謝申し上げます。

さて、世界に目を転じてみますとロシアによるウクライナへの軍事侵攻が始まって間もなく3年が経とうとしております。また、2023年10月7日に紛争が始まったパレスチナ・イスラエル問題が収まる気配がありません。また、アメリカ大統領のトランプ氏は、就任1週間で30を超える大統領令に署名をし、大幅な政策転換をするなど、全世界が固唾をのんで見守っている状態であります。そうした世界の不安定な要因により、エネルギー価格、食料品をはじめとする物価高騰が続き我が国の国民生活に大変な悪影響を与えております。

また、日本の社会動向として、急速に進む少子高齢化、人口減少、特に2025年問題は、団塊の世代が75歳以上となり、医療、介護の需要がピークに達し、社会保障費の増加や介護人材不足、労働者人口の減少が課題となり、日本の将来にも不安定さが増しております。

菊川市の抱える問題として、全国どこの市町にも共通する課題ではありますが、少子高齢化、人口減少に対する子育て支援、高齢者福祉、菊川市の特産である茶価の低迷、それに加えて農業従事者の高齢化による耕作放棄地の増大、インフラの老朽化、また近年の異常気象による豪雨災害、いつ来てもおかしくないといわれている大震災への備え等の課題が山積しております。

多くの難しい問題を抱える中で、菊川市議会の役割として、議会基本条例制定以降、議会の機能強化、情報共有、住民参加などについて継続して改革に取り組んでまいりましたが、まだまだ市民の理解を得るには十分とは言えません。令和5年度に行いました議会アンケートの内容を十分理解し、市民の皆様に市政に関心を持ってもらい、情報発信力の強化などに力を入れ、そして、さらなる議員の皆様の資質向上により、市政の監視役としての議決責任、市民への説明責任をしっかりと果たしていかなければなりません。これからも市民の皆様から信頼される議会の構築をさらに目指し、議会活動を市民の皆様により多く知ってもらう取り組みを進めることが大事であり、不断の努力と研鑽が求められています。

市民の皆様が日々不安のない生活が送られますよう議会が一丸となって取り組んでいく必要があります。

結びに、議長として、中立・公平・公正な議会運営をお誓い申し上げまして、議員各位の特段のご協力とご支援をお願い申し上げまして、私の議長立候補のご挨拶といたします。